

政務活動費成果届出書

届出者 水野尚美

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師: 社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏 (保健センター主査))

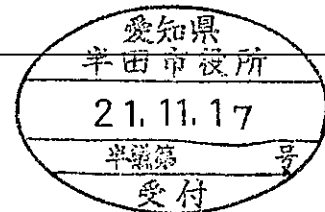
○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

- ・0歳～3歳の時期の育ちの重要性を痛感する中で、健常で生まれた子の保護者以上に精神的、身体的負担が大きく、その支援の必要性を感じた。また同時に障害のある子にとって0歳からできる限りの脳の発達保証や療育環境の充実も重要。
- ・子どもは自分で育てなければという考えが保護者の根底にあること、そして社会の中にも、子どもは親が育てるものという考えが根強く残っていることが積極的な支援に繋がっていないことも課題。
- ・「医療的ケア児及びその家族に対する支援」に関する法律は、令和3年にその内容について、努力義務から責務にするなど強化整備されたが、各自治体に置いて状況は様々とのこと。半田市は民間施設の充実もあり、支援は進んでいる自治体とのことだが、医療的ケア児が生まれ育つ地域の園や学校に通えてはいないため、地域の中で同世代の子どもと共に育ち合える環境整備が必要。
- ・立法の目的に、家族の離職防止も明言されているため、家族の意向を聞き取り望む支援も併せて必要。
- ・半田市の医療的ケア児の現状を学ぶと同時に、人形ではあるが医療的ケア児(約500g)と健常の新生児(約3,000g)の違いを体感することが出来、命が救われるそのこと以上に、医療的ケア児本人とその家族それぞれが生まれて良かったと思える社会にする必要性を感じた。
- ・医療的ケア児の支援充実による要支援者の移住増加は、半田市にとってマイナスではなく、人口増、税収アップ、新雇用などプラスである。

確認欄	議長	管理委員長



○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・半田市内の園や学校それぞれ、施設や人的配置などの環境整備は必要だが、直ぐに全て整えることは不可能であるため、先ずは予定されている半田中学校区において、拠点となる園、小学校、中学校で継続的な学びと育ちの保証の実現。
- ・ 家族の離職防止に対する支援の実施。
- ・ 医療的ケア児と共に過ごす、園児・児童・生徒及びその保護者に対する啓発、併せて、保育者・教育者の現場研修等の実施。
- ・ 早急な看護師の確保及び看護師派遣事業の充実。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかる勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あたり	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

領収書等貼付用紙

議員名 水野 尚美

タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏(保健センター主査))

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

政務活動費成果届出書

届出者 坂井 美穂

○使途項目 (○をつける) 調査研究・ 研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏(保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

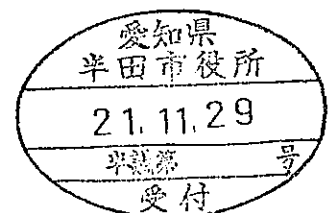
○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

医療的ケア児について、戸枝理事長の取り組みを映像も交えて勉強し、当事者(保護者や本人)の苦悩や社会資源や制度がないことによる様々な課題を知ることができた。半田市は全国でも先進的に取り組みが進んでいる自治体であることが分かった。平成28年に児童福祉法第56条の6項第2号にて、地方公共団体の責務が明示されたが、すでに半田市は医療的ケア児が普通学校で教育を受けられる環境と体制を整える準備を進めていることが具体的に理解できた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

医療的ケア児と保護者が置かれている環境や現状をまずは知ることで、当事者の苦悩や課題を理解できると感じた。半田市においては平成27年から環境づくり、体制づくりを進めており、平成28年からは保健、医療、福祉、教育等の横断的な取り組みを始めている。法律改正や当事者の苦悩や課題、半田市のこれまでの取り組みへの理解が進むことで、半田市の取り組みも加速すると思われるため、学校や地域においても勉強会は必要であると感じた。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)



確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかると勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あたり	3,125	

令和3年11月29日

領収書等貼付用紙

議員名 坂井 美穂

タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏(保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

①

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

政務活動費成果届出書

届出者 中川健一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏(保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

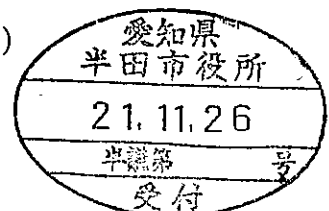
- ①半田市内に医療的ケアが必要な児童が約25人いることが分かった。
- ②医療ケア児に対する福祉施策が少ない現状があるが、なぜそうなっているのかは今一つ理解ができていない。
- ③周産期の医療技術が進歩したため、自然に任せていたら生を受けられなかった子どもが命を得ている現実がある。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ①医療ケア児に対する福祉施策が足りないのであれば、充実をさせる必要がある。
- ②半田市が突出して医療ケア児に特別な福祉施策を行うのではなく、国と歩調を合わせて基準や財源を明確にして対応をすべきである。
- ③自然に任せていたら生を受けられない状態の胎児をどこからどこまで医療で救うべきなのか、命のあり方の議論がまず必要ではないか。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかると勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あた り	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

令和3年 11月 26日

領収書等貼付用紙

議員名 中川 健一

タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏 (保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

①

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎 昌弘

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師：社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏 (保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・できた。

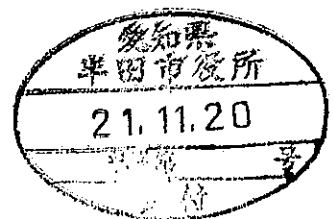
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・現在対応フローチャートができていますが、病院、子育て支援課、地域福祉課、教育委員会の連携の充実と共にコーディネーターができる人材確保
- ・令和3年度23名の医療ケア児(毎年右肩上がり)に対して、看護師派遣事業も実施しているが、保育・教育の保証には看護師等の充実ができるのか?不安が残る。
- ・医療機関との連携を進め情報伝達の早期に対応する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・医療技術が進歩すると共に医療的ケア児も右肩上がりになるため、国による児童福祉法の改正が必要である。(地方公共団体への負担軽減が必要)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかると勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あたり	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

領収書等貼付用紙

議員名 鳴崎 昌弘

タイトル

「医療的ケア児について」(講師: 社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏 (保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

①

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

政務活動費成果届出書

届出者 國弘秀之

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏(保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

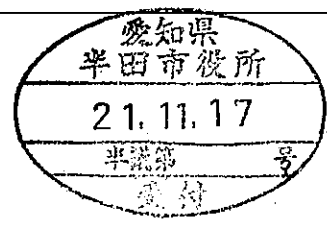
○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

本年6月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立した事により、地方公共団体は支援に係る施策を実施する責務を負うことになる。具体的な施策の実現は国や自治体の動き次第であるが、これまでの問題点や支援法の成立の経緯を知り現場に携わる方々より話を伺う事で、有効性や今後の方向性のあり方に役立てるといった目的は達成されたと考える。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)が

本法の成立・施行を契機に、医療的ケア児とその家族が適切なサポートを受け充実した生活を送れる社会の実現に向けた動きを加速する必要がある。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)



確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかる勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あた り	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

令和3年 11月 17日

領収書等貼付用紙

議員名 國弘 秀之

タイトル

「医療的ケア児について」(講師: 社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏 (保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。



領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

政務活動費成果届出書

届出者 加藤美幸

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師：社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏 (保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

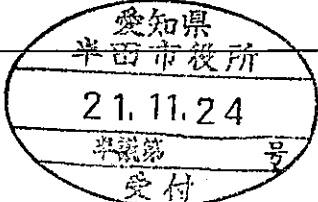
医療的ケア児の現状や海外との社会保障の比較をお聞きし、医療の進歩で救われた命へ尊厳をもって育む体制づくりが、まだまだ困難であることを感じました。そこには日本社会における、子どもは自分で見る責任、障がい児者は隠される存在であったためと考えます。実際の施設の様子やそこでの子どもの成長を知り、医療的ケア児への支援のあり方に理解と充実の必要性があると知ることが出来ました。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

通いたいにもかかわらず、その学校に適応できない子どもを排除するのではなく、様々な個性や特性を持った子どもと一緒に遊び学べる学校へと環境を整備するために、教育と福祉分野の柔軟な連携が必要です。
今後さらに数が増えると予測される「医療的ケアを必要とする子ども」を「かわいそうな子ども」というイメージを払拭し、これからは、ノーマライゼーションのまち半田を目指し、施策を行なうべきです。コーディネーターや医療関係者の配置や育成にも、力を注ぐ必要があります。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかると勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あたり	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

領収書等貼付用紙

議員名 加藤 美幸

タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏(保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

写

①

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

政務活動費成果届出書

届出者 伊藤 正興

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏(保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

医療的ケア児の現状と半田市の状況がよく分かりました。
映像を使用した説明は、有効だった。
教員等が行うことのできる医療的ケアの内容と範囲を初めて知りました。

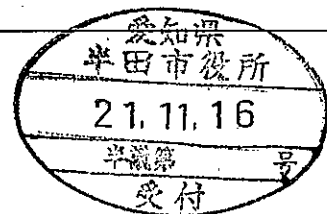
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

山積している課題への対応が必要。
今後も子ども達の学ぶ機会を平等に提供出来る仕組みを構築する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank area for additional remarks.

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかる勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あたり	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

領収書等貼付用紙

議員名 伊藤 正興

タイトル

「医療的ケア児について」(講師: 社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏 (保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

写

①

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基

令和3年11月24日

政務活動費成果届出書

届出者 新美保博

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「医療的ケア児について」(講師：社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏 (保健センター主査))

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

医療的ケア児及びその家族に対する支援について、長きにわたり医療的ケア児と家族に寄り添い様々な取り組みをされてきた、社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏を講師として勉強会を実施する。及び半田市の医療的ケア児の現状について、半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬小夜子氏を講師として勉強する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

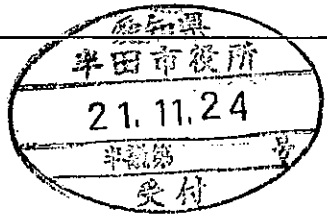
今日初めて、一步踏み込んだ、現場の状況を垣間見たというのが直感です。医療的ケア児の生活を支えること。何故と嘆くより、何ができるのかを考えなければならぬ時代になっていると感じました。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

特別視することなく、すべての人が楽しく暮らせるまちづくりため、体制はできていると思います。
家族が行う日常的医療的ケアが、すべてのケア児に必要なだけないというのも現実です。
更なる物心両面からの支援が政治に求められています

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
11/11	10:00~ 11:45	「医療的ケア児について」 にかかると勉強会 社会福祉法人理事長戸枝陽 基氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	25,000	1
		25,000円を8人で按分 (講師謝礼は半田市の内規 を準用)	1名あたり	3,125	

確認欄	議長	管理委員長

令和3年 11月 24日

領収書等貼付用紙

議員名 新美 保博

タイトル

「医療的ケア児について」(講師:社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏・
半田市医療的ケア児等コーディネーター 間瀬 小夜子氏 (保健センター主査))

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

写

①

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、11月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

原本は
水野議員に添付

令和3年11月11日

半田市議会議員

代表 水野 尚美 様 他 7名

戸枝陽基